7．鳥　類

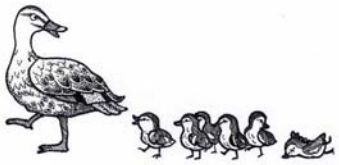
泡瀬地区では、これまで 126 種の鳥類が確認されています。その中でも 1 年を通してみられる鳥は 25 種と少なく、渡りをしながら生活する鳥が多いのが特徴です。

最も多く観察されている種類は、シギ類の 27 種類です。この仲間は、干潟域や比屋根湿地を中心に観察され、このような場所で生活しているカニ類、貝類、小魚、ゴカイ類等を食べるために集まって来ます。また、カモ類、カワセミやメジロが、それぞれ沖縄県運動公園の沼地、公園池、遊歩道でみられます。

これら以外によくみられる種類で特徴的なものは、夏に見られるアジサシ類です。この種類は、沖合でホバリングしながら小魚を狙っている様子がよく観察され、夏の季節が過ぎる頃に子育てを終え、沖縄を去って行く、沖縄にゆかりのある鳥です。

これに対し、サギ類は冬によく見られる種類です。この種類は、比較的大型のものが多く、浅所の干潟海域や比屋根湿地等でよく小魚を捕って食べている姿がよく観察されます。

また、これら以外としては、チドリ類やヒタキ類等、多くの種類が観察されます。これは、泡瀬地区にはサンゴ礁・藻場海域、広い干潟域や比屋根湿地と、多様な環境が存在することが一つの要因と考えられます。

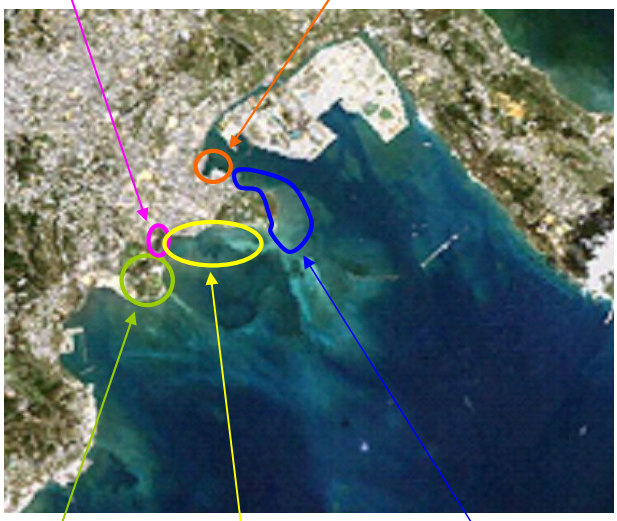


●泡瀬地区周辺の野鳥観察ポイント

泡瀬地区周辺で、鳥がよく集まり、観察に適している場所をいくつか紹介します。鳥の図鑑ページには、それぞれの種類ごとに、よく見られる場所を「観察ポイント」として挙げていますので、野鳥観察の参考にしてみてください。

①比屋根湿地
シギ類、サギ類、チドリ類などの水辺の鳥をはじめ、ヨシ原ではセッカなどもみられます。

②泡瀬漁港
カモメ類などの海鳥がみられます。



③沖縄県総合運動公園
池や沼ではカモ類やカワセミなど水辺の鳥が、歩道ではメジロなどがみられます。

④泡瀬干潟海岸
干潟で餌をついばむシギ類、サギ類、チドリ類やアジサシ、ミサゴなどがみられます。

⑤米軍通信塔周辺
干潟で餌をついばむシギ類、サギ類、チドリ類や、フェンス越しにオナガガモなどがみられます。

7.鳥　類

● 観察ポイントでみられる主な種類

①比屋根湿地

チドリの仲間
コチドリ

④泡瀬干潟海岸

サギの仲間
ダイサギ
チュウサギ
コサギ
アオサギ
クロツラヘラサギ

チドリの仲間
シロチドリ

シギの仲間
アカアシシギ
アオアシシギ
タカブシギ
イソシギ
オグロシギ
オオソリハシシギ
チュウシャクシギ
タシギ

⑤米軍通信塔周辺

サギの仲間
リュウキュウヨシゴイ

クイナの仲間
オオバン

チドリの仲間
タゲリ

②泡瀬漁港

アジサシの仲間
コアジサシ

カモメ類
ズグロカモメ

タカの仲間
ミサゴ

シギの仲間
キョウジョシギ

チドリの仲間
ムナグロ

スズメの仲間
キセキレイ

イソヒヨドリ

サギの仲間
アマサギ

カモの仲間
カルガモ
コガモ
ヒドリガモ
オナガガモ
ハシビロガモ

クイナの仲間
バン

カイツブリ
カワセミ
キジバト

スズメの仲間
ヒヨドリ
シロハラ
セッカ
メジロ
スズメ

ハヤブサ

サギの仲間
クロサギ

シギの仲間
ダイシャクシギ

アジサシの仲間
ベニアジサシ
エリグロアジサシ

タカの仲間
サシバ
チョウゲンボウ

③沖縄県総合運動公園

カイツブリ

海岸

カイツブリ目　カイツブリ科

Tachybaptus ruficollis

●大きさ：　全長26cm。

●特　徴：　ハトほどの大きさで、全体が茶色で尾が無い。他のカイツブリと比べると、首がやや短い。潜水と浮上をくり返す。

●生態（時期）：　年中。数は少ない。

●希少性：NT(沖)

リュウキュウヨシゴイ

湿地　海岸

コウノトリ目　サギ科

Ixobrychus cinnamomeus

●大きさ：　40cm。

●特　徴：　かっ色の小さなサギ。くちばしの先が細い。オスは頭、翼、背中、尾まで赤味の茶色、メスはむねからおなかにたてじま。水田をおおまたで抜き足差し足で歩く。

●生態（時期）：　年中。琉球列島で生息し繁殖する。

●希少性：NT(沖)

ゴイサギ

湿地

コウノトリ目　サギ科

Nycticorax nycticorax

●大きさ：　58cm。

●特　徴：　カラスほどの大きさで、翼、腰、尾が濃淡の灰色で、背中は黒っぽく、コントラストが鮮やか。昼間は背中を丸めて、水面をじっと見て小魚の様子をうかがう。

●生態（時期）：　年中。

アマサギ

干潟　湿地　海岸

コウノトリ目　サギ科

Bubulcus ibis

●大きさ：　50cm。

●特　徴：　頭からむねにかけてあま色が特徴。水田でトラクターで田起こしするとあとを追いながら水生昆虫を狙う。

●生態（時期）：　8月～6月。

ダイサギ

干潟　湿地　海岸

コウノトリ目　サギ科

Egretta alba

●大きさ：　89cm。

●特　徴：　アオサギより3cmほど小さいが、大きさが目立つ水の中や池のほとりの草の中をゆっくりと歩きながらエサを探す。

●生態（時期）：　9月～5月。

チュウサギ

干潟　湿地　海岸

コウノトリ目　サギ科

Egretta intermedia

●大きさ：　68cm。

●特　徴：　コサギとの大きさの違いは判別しにくい。コサギと違い冠羽はない。脚指は黒っぽい。頭は他のサギ類に比べて最も丸みをおびている。

●生態（時期）：　9月～5月。

●希少性：　NT(環)、NT(沖)

コサギ

干潟　湿地　海岸

コウノトリ目　サギ科

Egretta garzetta

●大きさ：　61cm。

●特　徴：　くちばし、首、足は細く長くスマート。羽毛は純白。靴下でも履いているように黄色い脚指が、最大の特徴。冠羽も目立つ。

●生態（時期）：　9月～6月。

クロサギ

干潟　湿地　海岸

コウノトリ目　サギ科

Egretta sacra

●大きさ：　62.5cm。

●特　徴：　コサギほどの大きさ。足は短めにみえる。全身が白いタイプもあり、海岸等に単独でいる白いサギは、白いクロサギであることが多い。

●生態（時期）：　年中。

アオサギ

干潟　湿地　海岸

コウノトリ目　サギ科

Ardea cinerea

●大きさ：　93cm。

●特　徴：　ダイサギより大きい。脚が長い。くちばしは黄色。背中、翼は青灰色。頭に黒い冠羽。岸や水の中でじっとたたずんでいる。首をS字形に曲げて飛ぶ。

●生態（時期）：　9月～5月。冬に群れで渡来。

●希少性：DD(沖)

クロツラヘラサギ

干潟　湿地

コウノトリ目　トキ科

Platalea minor

●大きさ：　74cm。

●特　徴：　ヘラサギよりやや小さい。全身が白色でむねが黒い。目先の黒い線が目の部分まで広がっている。水中にくちばしを入れ首を左右に振りながら小走りする。

●生態（時期）：　11月～3月。飛来数は少ない。

●希少性：CR(環)、CR(沖)

カルガモ

湿地

カモ目　カモ科

Anas poecilorhyncha

●大きさ：　61cm。

●特　徴：　全身かっ色の大型のカモ類。白っぽい顔に黒い2本の線がある。くちばしは黒っぽく、先端が黄色。足は橙赤色をおびる。

●生態（時期）：　年中。

湿地　海岸

コガモ

カモ目　カモ科

Anas crecca

●大きさ：　38cm。

●特　徴：　国内のカモ類では最小。オスの頭は栗かっ色でほおの緑色が特徴。お尻両側の黒いふちどりの中に黄色い斑がある。メスは全身かっ色で地味。群れでみられる。

●生態（時期）：　10月～3月。

ヒドリガモ

湿地　海岸

カモ目　カモ科

Anas penelope

●大きさ：　48.5cm。

●特　徴：　オスは頭は栗かっ色で頭頂部は淡く、むねは赤っぽいかっ色で、尾が黒く、ほかの部分は灰色。メスは全身かっ色で赤味が強い。くちばしはオスメスとも先が黒い。

●生態（時期）：　11月～3月。飛来数は多い。

オナガガモ

湿地　海岸

カモ目　カモ科

Anas acuta

●大きさ：　オス75cm、メス53cm。

●特　徴：　他のカモ類より首と尾が長い。オスは顔が黒かっ色で、首の前面と横が白く、体は灰色、黒く細長い尾が目立つ。メスは全身かっ色で、濃かっ色の斑がある。

●生態（時期）：　11月～3月。

ハシビロガモ

湿地　海岸

カモ目　カモ科

Anas clypeata

●大きさ：　オス51cm、メス43.5cm。

●特　徴：　くちばしは幅広く大きい。オスの頭は光沢のある緑色で、むねは白色がかり、おなかからわきが赤かっ色で、尾は白色味がある。メスは汚れたような黄かっ色。

●生態（時期）：　11月～2月。飛来数は少ない。

ミサゴ

海岸　陸域

タカ目　タカ科

Pandion haliaetus

●大きさ：　オス54.5cm、メス63.5cm。

●特　徴：　翼は細長く、広げると1.6m。体の下面が白い。水辺の上空でホバリング（停空飛翔）をしながらエサを探し、急降下し水面に突っ込んで魚を捕らえる。

●生態（時期）：　9月～5月。

●希少性：　NT(環)、VU(沖)

サシバ

海岸　陸域

タカ目　タカ科

Butastur indicus

●大きさ：　49cm。

●特　徴：　カラスほどの大きさのタカの仲間。赤みをおびたむねのかっ色とおなかの横じまが特徴。秋の渡り期には、上昇気流に乗って、大群で南方へ飛ぶ。

●生態（時期）：　10月～4月。琉球列島に、春秋に大群で

ハヤブサ

海岸　陸域

タカ目　ハヤブサ科

Falco peregrinus

●大きさ：　オス43cm、メス49cm。

●特　徴：　翼の幅は広く、先がとがっている。ほおに黒斑がある。飛び方は直線的。飛んでいる鳥を上から急降下して、けり落とし、捕らえる。

●生態（時期）：　10月～3月。飛来数は多くない。

●希少性：　VU(環)、VU(沖)、Ⅰ(種)

チョウゲンボウ

海岸　陸域

タカ目　ハヤブサ科

Falco tinnunculus

●大きさ：　オス33cm、メス38.5cm。

●特　徴：　ハトほどの大きさのハヤブサの仲間。オスは頭と尾が灰色、メスは全体がかっ色味がかる。ネズミ等をねらって、時々ホバリング（停空飛翔）している。

●生態（時期）：　9月～4月。

バン

湿地

ツル目　クイナ科

Gallinula chloropus

●大きさ：　32.5cm。

●特　徴：　体は黒く、わきとお尻に白斑。くちばしは赤く先端が黄色い。若鳥は全身淡かっ色で、くちばしは赤くない。尾を上げ、首を前後に振って泳ぐ。方言名で「クミラー」。

●生態（時期）：　年中。

オオバン

湿地

ツル目　クイナ科

Fulica atra

●大きさ：　39cm。

●特　徴：　ハトより大きい。頭が小さく太った体つき。全体が黒く、額とくちばしが白い。ほとんど水面で活動し、泳いでいる姿がよくみられる。時には潜って餌をとる。

●生態（時期）：　10月～4月。飛来数は少ない。

●希少性：NT(沖)

コチドリ

干潟　湿地　海岸

チドリ目　チドリ科

Charadrius dubius

●大きさ：　16cm。

●特　徴：　スズメよりやや大きい。黄色い目のまわりが特徴。首につながった黒い輪がある。「千鳥足」の由来は、チドリ類が餌を捕るときのジグザクに歩くさま。

●生態（時期）：　7月～4月。

シロチドリ

干潟　湿地　海岸

チドリ目　チドリ科

Charadrius alexandrinus

●大きさ：　17.5cm。

●特　徴：　額から目の上が白い。コチドリと違い、首の黒い輪の前が切れる。外敵から卵やヒナを守るために、親鳥はケガをしたふり（疑傷行動）をして注意を引く。

●生態（時期）：　年中。県内繁殖する唯一のチドリ類。

●希少性：NT(沖)

ムナグロ

干潟　湿地　海岸

チドリ目　チドリ科

Pluvialis fulva

●大きさ：　24cm。

●特　徴：　体の上面は黒、黄かっ色、白のまだら模様。夏羽は顔からむね、おなかが黒色で、額から首、わき側面に白い部分が出る。冬羽は体の下面が黄かっ色。

●生態（時期）：　8月～5月。

タゲリ

湿地

チドリ目　チドリ科

Vanellus vanellus

●大きさ：　31.5cm。

●特　徴：　ハトほどの大きさ。黒く長い冠羽が特徴。体の上面はツヤのある黒っぽい緑色。下面は白く、むねに幅広い黒いおびがある。

●生態（時期）：　10月～3月。飛来数は少ない。

キョウジョシギ

干潟　湿地　海岸

チドリ目　シギ科

Arenaria interpres

●大きさ：　22cm。

●特　徴：　脚は短く胴が長い。夏羽の赤かっ色、黒、白色とひときわ美しい配色が特徴のシギ類。小石等をひっくり返して餌をとる仕草から英名は「ターンスートン（石ころがし）」。

●生態（時期）：　8月～5月。

アカアシシギ

干潟　湿地

チドリ目　シギ科

Tringa totanus

●大きさ：　27.5cm。

●特　徴：　足が赤く、くちばしのつけ根は上下とも赤い。腹の黒いまだら模様は、冬羽では少なくなる。

●生態（時期）：　9～6月。冬に飛来する。

●希少性：VU(環)、VU(沖)

アオアシシギ

干潟　湿地　海岸

チドリ目　シギ科

Tringa nebularia

●大きさ：　35cm。

●特　徴：　足は長く緑青色がかる。くちばしは長くやや上にそり、黒っぽい。飛び立つ時によく鳴く。

●生態（時期）：　8月～5月。冬によくみられる。

タカブシギ

湿地　干潟

チドリ目　シギ科

Tringa glareola

●大きさ:　21cm。

●特　徴:　ハマシギほどの大きさで、。体の上面は黒かっ色で白っぽい斑点がある。翼の下面は白っぽく、足は黄緑色で長い。

●生態(時期):　7月～4月。7月中旬ごろに飛来し、一部は

キアシシギ

干潟　湿地　海岸

チドリ目　シギ科

Heteroscelus brevipes

●大きさ:　26.5cm。

●特　徴:　黄色い足が特徴的。夏羽では顔から首に縦斑がみられ、むねからわきに横斑がある。冬羽ではこの斑紋がなくなる。

●生態(時期):　8月～5月。春秋の渡り期に大群がみら

イソシギ

干潟　湿地　海岸

チドリ目　シギ科

Actitis hypoleucos

●大きさ:　20cm。

●特　徴:　ハマシギほどの大きさ。腹の白色が翼のつけ根の前までくい込む。飛ぶと翼上面に白帯がみえる。尾を上下にふって歩く。単独行動が多い。

●生態(時期):　8月～5月。

オグロシギ

干潟　湿地

チドリ目　シギ科

Limosa limosa

●大きさ:　38.5cm。

●特　徴:　夏羽でも冬羽でもオオソリハシシギによく似ているが、足が長く、くちばしは反らない。冬羽はのどが白い。

●生態(時期):　10月～3月。春秋に少数が飛来。

オオソリハシシギ

干潟　湿地　海岸

チドリ目　シギ科

Limosa lapponica

●大きさ：　41cm。

●特　徴：　オグロシギより足が短く、くちばしが上に反る。夏羽は顔から首、むね、おなかが赤かっ色で、体の上面は赤かっ色と白黒のまだら。冬羽は上面が灰かっ色。

●生態（時期）：　10月～4月。県内各地に飛来。

ダイシャクシギ

干潟　湿地

チドリ目　シギ科

Numenius arquata

●大きさ：　60cm。

●特　徴：　くちばしは長くて下に曲がっている。ホウロクシギによく似ているが、お尻と翼の下面が白い。数十羽の群れをつくることがある。

●生態（時期）：　9月～4月。秋に飛来し、一部は越冬する。

チュウシャクシギ

干潟　湿地　海岸

チドリ目　シギ科

Numenius phaeopus

●大きさ：　42cm。

●特　徴：　下に曲がったくちばしをもつ。ダイシャクシギに似ているが小さく、頭の側面に黒かっ色の線がある。

●生態（時期）：　9月～4月。春秋の渡り期に小群でみられ、

タシギ

干潟　湿地

チドリ目　シギ科

Gallinago gallinago

●大きさ：　27cm。

●特　徴：　まっすぐで長いくちばしを土の中に垂直に入れ上下に動かして餌を採る。近づくとジェッっと一声鳴いて飛び立つ。

●生態（時期）：　10月～3月。冬に多くみられる。

セイタカシギ

干潟　湿地

チドリ目　セイタカシギ科

Himantopus himantopus

●大きさ：　37cm。

●特　徴：　足はピンクで細長く、くちばしはまっすぐで細長い。頭は黒斑の大きいもの、小さいもの、無いもの等多様。「水辺のバレリーナ」と愛称され、最も人気のある鳥。幼鳥は淡

●生態（時期）：　8月～5月。数多くが越冬する。

●希少性：EN(環)、VU(沖)

ウミネコ

海岸

チドリ目　カモメ科

Larus crassirostris

●大きさ：　46.5cm

●特　徴：　カラスより小さい。尾の先に黒い帯があるのが特徴。くちばしは全体に黄色で細く、先端のほうから赤色と黒色の斑紋がある。長めの胴、大きくシャープな翼、脚は黄色。

●生態（時期）：　10月～3月。

ズグロカモメ

干潟　湿地

チドリ目　カモメ科

Larus saundersi

●大きさ：　32.5cm。

●特　徴：　背中が淡い青灰色でユリカモメによく似るが、くちばしが黒く短い。冬羽で頭が白く、目の後ろに黒い斑がある。カニを好んで捕らえて食べる。

●生態（時期）：　10月～3月。

●希少性：VU(環)、VU(沖)

ベニアジサシ

海岸

チドリ目　カモメ科

Sterna dougallii

●大きさ：　33cm。

●特　徴：　コアジサシより大きい。夏羽では頭が黒色で、背中は淡い灰白色。ツバメのような尾を持つ。くちばしは赤く、足は赤っぽいオレンジ色。

●生態（時期）：　5月～9月。

エリグロアジサシ

海岸

チドリ目　カモメ科

Sterna sumatrana

●大きさ：　30cm。

●特　徴：　コアジサシより大きい。全身白く、ツバメのような尾を持つ。くちばしと足はと目から後頭部への線が黒い。ベニアジサシと一緒に行動する。

●生態（時期）：　　5月～9月。

●希少性：NT(環)、NT(沖)

コアジサシ

海岸

チドリ目　カモメ科

Sterna albifrons

●大きさ：　28cm。

●特　徴：　夏羽は頭が黒く、ひたいが白い。くちばしは黄色で先が黒い。背中は淡い灰色、白いツバメのような尾を持つ。冬羽はくちばしが黒ずむ。

●生態（時期）：　　4月～9月。

●希少性：VU(環)、VU(沖)

キジバト

陸域

ハト目　ハト科

Streptopelia orientalis

●大きさ：　33cm。

●特　徴：　全身灰かっ色。首の側面に黒と青灰色のしま模様、体上面に茶色のうろこ状の模様がある。翼と尾は黒っぽい。地上で歩くときは首を前後に振る。

●生態（時期）：　　年中。

カワセミ

干潟　湿地　海岸

ブッポウソウ目　カワセミ科

Alcedo atthis

●大きさ：　17cm。

●特　徴：　水辺の「ダイヤモンド」として最も人気。ホバリング（停空飛翔）のあと、捕らえた小魚をくわえて杭に打ち付けて食べる。

●生態（時期）：　　年中。

●希少性：NT(沖)

キセキレイ

湿地

スズメ目　セキレイ科

Motacilla cinerea

●大きさ:　20cm。

●特　徴:　ハクセキレイより小さい。むねからおなかにかけての鮮やかな黄色が見分けのポイント。水辺を優雅に歩き回る。尾を上下に振る。

●生態(時期):　9月～4月。

ハクセキレイ

湿地　干潟　海岸

スズメ目　セキレイ科

Motacilla alba

●大きさ:　21cm。

●特　徴:　スズメより大きい。白と黒のコントラストが目立つ。水田や畑の畔道を(波状飛行)でくり返し行き来し、忙しい。尾を振りながら歩く。

●生態(時期):　9月～4月。

ヒヨドリ

陸域

スズメ目　ヒヨドリ科

Hypsipetes amaurotis

●大きさ:　27.5cm。

●特　徴:　細いくちばし、長い尾でスマート。全体は灰かっ色。ほおに栗色の斑点。一年中甲高い声で鳴く。方言名「スーサー」。

●生態(時期):　年中。

イソヒヨドリ

海岸　陸域

スズメ目　ツグミ科

Monticola solitarius

●大きさ:　23.5cm。

●特　徴:　オスは鮮やかなブルー。メスは地味なかっ色だが、むねのウロコ模様が特徴。オスの鳴き声は長く、うっとりとさせる。岩場を好むが、建物のヒサシで子育てをするケースもある。

●生態(時期):　年中。

シロハラ

陸域

スズメ目　ツグミ科

Turdus pallidus

●大きさ:　24cm。

●特　徴:　大型のツグミ。林の暗い地面や庭で枯葉をくちばしではねのけて、下の虫を探す。けいかい心が強く、人の足音で逃げ去る。

●生態(時期):　11月～3月。

セッカ

陸域

スズメ目　ウグイス科

Cisticola juncidis

●大きさ:　12.5cm。

●特　徴:　春から夏に草原や川原で飛びながらさえずる。上空で輪を描きながら飛び、急に草原におりる。ススキやアシの茎にバランスよく止まる。俗称は「チンチナー」。

●生態(時期):　年中。

メジロ

陸域

スズメ目　メジロ科

Zosterops japonicus

●大きさ:　11.5cm。

●特　徴:　スズメより小さい。全体に緑っぽくみえる。名前のように目の周りの白いリングが最大の特徴。

●生態(時期):　年中。

スズメ

陸域

スズメ目　ハタオリドリ科

Passer montanus

●大きさ:　14.5cm。

●特　徴:　茶色の頭と黒いほおが目立つ。最も身近な野鳥。

●生態(時期):　年中。